

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	nineみずほ		
○保護者評価実施期間	2026年 1 月 7 日 ～ 2026年 1 月 31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 1 月 13 日 ～ 2026年 1 月 31 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1 月 31 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容や保護者様満足度	個別教材や、集団活動の策定、課題の設定等職員で話し合いをしてルーティンワークで立案・準備・実行・反省とできている。	反省からの改善ないし活動から次の活動に繋げる等がまだしっかりととはできておらず、発達段階や個々の課題設定の共有・可視化に取り組み、PDCAサイクルを回して児童のよりよい療育に繋げていけるように取り組む。
2	保護者様との関係・連携方法	HUGアプリやLINE等の連絡ツールにて写真や活動ごとに課題や様子をお伝えして細かく記録している。 また送迎時でも今日できるようになったことや細かな様子、何か様子が違う時や転倒した時等、すぐに連絡して保護者様との関係を構築している	保護者様同士でも関係を構築して支援者ではなく、保護者同士でしか話づらい話をできる仲間作りが出来ると良い。そのためには保護者会や研修の策定が必要である。
3	職員の配置数や意見の通りやすさ	職員の配置が多めに設定されており、細かく係や委員会を設定できている。 そのため1人に負担がいきすぎず、全員で取り組める体制がとれている	地域連携や研修等の係の策定されておらず、よりよい職員の育成、質の良い支援づくり、地域で認知される姿になれるように企画していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童との関わりや地域連携の少なさ	個々のニーズや課題・活動への取り組みも守りながら、地域へと参入していくことがなかなか時間とれずにより、現状となる	お祭りやお買い物活動、また地域でのイベントへの参加も視野に少しずつ地域に参入していき新しい環境を楽しめるようにサポートしていく
2	保護者会やペアレントトレーニングの少なさ	保護者会を2年前にしてからできておらず、事業所内での一般のかたへの研修等もまだなく、市の研修を対象の保護者様に周知することもできておらず。	保護者が参加したい内容をリサーチ・保護者会の策定、日ごろの相談や就学相談等にも取り組み、保護者同士の関係の構築にも取り組んでいけたらよい
3	マニュアルの周知や避難訓練の頻度	新規職員並びに保護者様にマニュアルを周知していけるサイクルの策定がまだできておらずであり、また避難訓練も定期的に計画するサイクルできておらず、なかなか取り組めずにいる	マニュアルの周知は契約時に周知、避難訓練は年間計画としてあらかじめ策定するサイクルとしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		nineみずほ						公表日	2026年3月25日
								利用児童数	27名
								回収数	25名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25				・運動するのに十分なスペースあり		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24			1	・複数の職員が常にフォローしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		3	・色や写真をもちいて伝達あり		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25				・常に整理されている		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25				・言葉をしゃべれないが子供の目線に合わせて対応してくれている		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25				・HUGをみて子供を見て色々な活動をして載けている		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25				・nineに通い、落ち着きや成長を感じる		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			2	・ショートゴールが設定されている		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25				・飽きのないように活動とともに季節イベントも行ってくれている		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	1	10	・送迎時保育所と情報共有してくれる ・地域のお子さんとの活動・交流は不明	・地域交流がまだ少なくイベントや活動の中で地域交流を図っていきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				説明されている		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25				説明されている		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	5	6		・2年前に保護者会開催してからできておらず、開催とともに保護者様との療育の情報共有できるような機会をもてるように案内周知していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25				・送迎時にいつも伝えて載っている ・1日の様子を丁寧に記録してくれ嬉しい ・ちょっとした体調の変化や様子も伝えてくれてありがたい		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24			1	・面談・LINEでされている ・毎回細かく面談していただき相談ものってもらい心強い		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25				・面談・LINEでされている ・成長面をよく褒めてくれる		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	5	8		・2年前に保護者会開催してからできておらず、開催とともに保護者様との療育の情報共有できるような機会をもてるように案内周知していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24			1	・就学後の相談等都度対応してくれる	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25				・送迎時の伝達とHUGで様子が分かりやすい	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	1		1	・HUGいつも楽しみにしている ・SNSもアップされている	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	8	・マニュアルをみたことがないが用意されている	・契約時、マニュアルに沿って避難・連絡する旨伝えていますが細かいマニュアルの伝達できておらず、全体に伝達できるように致します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	1	11		・避難訓練は年に2回実施しており写真公開で保護者様にも伝達していけるようにいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	2		4		・安全計画の周知・共有していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			3	・小さな赤みや傷でも連絡あり ・まだそのような状況になっておらず不明	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25				・子どもも大人も安心してお願いすることができています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				・nine大好きで毎回家しく通っている ・機嫌よく帰宅している ・休みの日でも行きたがるくらい楽しみにしている ・卒業するの寂しいと泣く程大好きな様子	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				・活動内容・子供の様子に満足している ・子供の成長を感じ大変満足 ・きめ細やかな対応を毎回してくれありがたい	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		nineみずほ					公表日	2026年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		・満員だと狭く感じる ・法律上は適切だが個室がもう1つあると良い ・訓練室個室とももう少し広いと良い		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		・有給や体調不良がでると厳しい		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		・階段がありバリアフリーではない ・階段や大きな窓等あり、クッション材で保護しているが不十分 →危険箇所は職員とともに歩行		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1		・清潔ではあるが、物が多い		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			・個室に棚や教材があり、狭さを感じる →パーテーションの活用や物の断捨離ないし倉庫増築		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2		・PDCまでは良いが、Aに繋がらないこともある ・毎日の終礼で反省や目標について職員共有している →課題・できたこと・次のステップを表にし、可視化できるようにして、次の活動に繋げるように改善していく		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		・ペアレントトレーニングや地域連携に難航 →地域でのイベント企画、保護者様への研修 周知や研修の企画		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・立案時や終礼の際に意見を出し合う機会があり、尊重されやすい			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		・ペアレントトレーニングや地域連携に難航 →地域でのイベント企画、保護者様への研修 周知や研修の企画		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		・もっと療育内容の深い研修をやりたい ・事業所内のPRや療育のスキルアップにつながる研修を行う必要を感じる →研修内容の策定		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・毎月末に翌月の活動立案を行い、意見を出し合い協力できている			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・担当職員が月ごとに代わり、各職員の個性のある活動を展開できている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	支援後の終礼にて翌日について確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		・医療、病院とは直接のやりとりはなく、療育センター・保育所とはあり
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			・支援学校との連携はあるが、普通小との連携会議等はまだまだなされていない
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7	1		・療育センターとは直接やりとりあり、助言を受けている →深い部分での職員研修もあると良い
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		・近隣の公園で遊ぶ際に子供との関わりや放課後デイの利用児との関わりはあり →地域イベントや交流少なく、お祭り等企画
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		・日々のアドバイスは面談時に伝えているが研修は開催していない →オンライン研修の周知や事業所内での保護者様向けの研修を策定
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		・一昨年の保護者会から開催なし →保護者会の開催や勉強会等の研修を開催できるように策定
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		・PCウィルス対策が不十分で書類の施錠が甘い →施錠の徹底化・ウィルス対策策定
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	・委員会が中心となり取り組んでいる	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	・委員会が中心となり取り組んでいる	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・終礼時毎日ヒヤリハットをだしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・委員会が中心となり取り組んでいる	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		・身体拘束同意書に社内の独自シートあり	